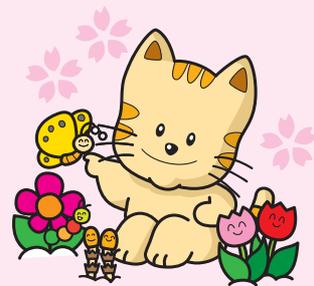


母と子のにわ

—利用者のみなさまと大阪母子医療センターをつなぐ—



vol.46 2021年3月

新生児マススクリーニング（NBS）検査と拡大NBS

新生児マススクリーニング（NBS）検査とは

ヒトの先天性（生まれつき）の病気の中には、生まれてすぐに診断し治療すると、症状や進行を予防できるものがあります。そのような病気を見つけるのがNBSです。1950年代にアメリカで開始され、日本では1977年に全国一律に導入されました。1997年からは各自治体が母子保健事業として公費（無料）で行なうようになり、全国に普及し、受診率はほぼ100%に達しています。当センターは1981年の開設時よりNBSの検査センターとして大阪市を除く大阪府内市町村からの依頼により年間約4万件の公費NBSを行っています。公費NBSでは、現在、25疾患が対象になっています。

検査方法について

分娩施設において、生後4～6日頃に赤ちゃんの数滴の血液を専用の「ろ紙」に染み込ませ、乾燥させます。その後、分娩施設から送られてきた「ろ紙」を当センターで検査しています。

拡大NBSについて

NBS対象疾患を拡充するための研究が進んでおり、当センターでは今年の4月から拡大NBSとして重症複合免疫不全症（SCID）を任意・有料で検査を開始することになりました。また、夏ごろを目途に、脊髄性筋萎縮症（SMA）もSCIDと同時に検査できるよう進めているところです。

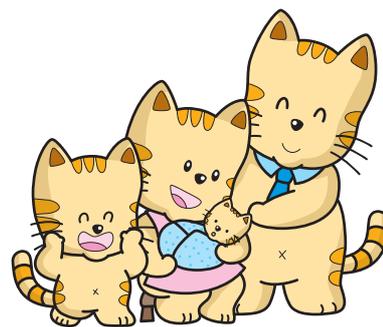
SCIDは免疫細胞が異常で重大な感染症を繰り返す疾患です。早期に発見し診断・治療をすれば生命予後が大きく好転する疾患です。

SMAは全身の筋力低下を示す進行性神経筋疾患で、運動神経や筋肉が育たず筋力が低下していく病気です。近年、画期的な治療薬が開発され、発症前治療により健常児と変わらない成長発達が報告されています。

早期発見・早期治療のために検査をおすすめします

当センターでは、分娩される方全員に検査のご案内をします。当センター以外で出生し、検査をご希望の方は、まずは、あなたが分娩される施設でお尋ねください。当センターホームページにて検査可能医療機関を確認することも可能です。

拡大新生児マススクリーニング検査について
<https://www.wch.opho.jp/hospital/department/kensa/scid.html>



（臨床検査科 主任部長 位田 忍）

採血室よりお知らせ

スマホを利用した採血順番のお知らせシステムの開始



当センター採血室では、新型コロナウイルス感染対策及び、患者さんの利便性向上のためスマホを利用した採血順番のお知らせシステムを開始しました。受付を済ませた患者さんにQRコードが印刷された番号券をお渡ししますので、QRコードにスマホからアクセスすると採血待ち人数が確認できます。また、検査受付のモニター画面でも、待ち人数の詳細を確認できるようになりました。ぜひご活用ください。

小児気道疾患の診断と治療

非挿管での気道検査と手術

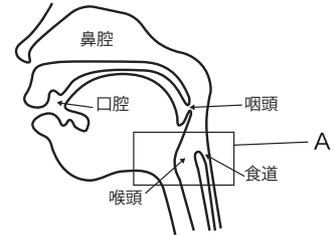


図1：鼻・のどの断面

小児はもともと体が小さいため、呼吸の経路(気道)も狭く、大人に比べて気道狭窄^{きょうさく}症状が出やすい特徴があります。気道狭窄^{きょうさく}があると呼吸時に音がしますが、その音を喘鳴^{ぜんめい}といいます。喘鳴^{ぜんめい}の原因は小児特有で、検査、治療に独特の方法が必要となるため、小児気道疾患は小児耳鼻科の重要な領域となっています。

小児に対する気道検査

気道は、鼻からファイバースコープを挿入して検査します。大人であれば、局所麻酔で検査できますが、小児ではどうしても喉に力が入ってしまうため、普段の状態を評価できませんので、必要に応じて全身麻酔下に検査を行います。

通常であれば全身麻酔には気管内挿管チューブを使用しますが、当センターでは、麻酔科協力の下、チューブを使用せずに最適なレベルの麻酔をかけながら自然な呼吸状態で気道を観察しています。さらに詳細な観察が必要な場合は、喉頭鏡^{こうとうきょう}という金属の筒を喉に挿入し、硬性鏡という棒状のレンズで観察します。喉頭鏡^{こうとうきょう}を挿入すると、図2のように喉頭を観察しながら患部を直接触ったり、手術を行ったりすることが可能になります。

図1 Aの部位の拡大図

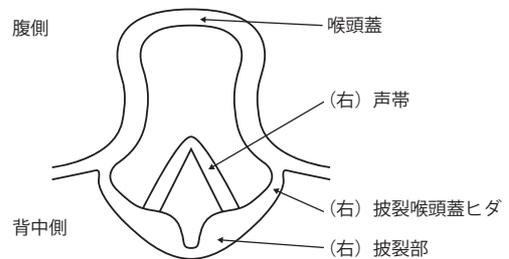


図2：喉頭の構造 披裂部、声帯、披裂喉頭蓋ヒダは左右1対あります

喉頭軟化症（喉頭軟弱症）

小児の喘鳴^{ぜんめい}の原因の第1位で、喉頭の構造物が柔らかすぎたり、余分にあつたりすることで、吸気時に気道が狭くなってしまふ病気です。図3上段のように、病変部位により3つに分類されています。生後1か月頃に症状が出て、一旦悪化し、1-2歳頃で自然と治ることがほとんどですが、中には哺乳不良や体重増加不良だけでなく、気道にチューブを入れたり、特殊なマスクを使用したりして呼吸

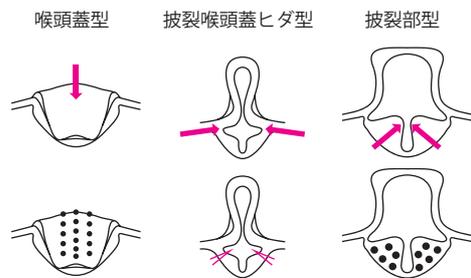


図3：喉頭軟化症の分類と治療法

- 吸気時に引き込まれる部位・方向
- レーザー照射
- レーザー切離

管理をしなければならない重症例もあり、その場合は手術の適応となります。当センターは、声門上形成術を行っている国内で数少ない施設のひとつです。気道検査と同じ方法で全身麻酔下に喉頭を観察し、図3下段のようにレーザーで治療します。術後はICUへ1泊し、1週間ほどで退院になります。もともと合併症のない方では、早期に気道のチューブや特殊なマスクによる呼吸管理が不要となるなど、大変良い治療成績となっています。

（耳鼻咽喉科 部長 岡崎 鈴代）
（麻酔科 主任部長 橋 一也）

母性外来におけるオンラインでの取り組みについて

動画を用いた 無痛分娩説明について

当センターでは、30年以上前から無痛分娩を実施してきました。また、無痛分娩を妊婦さんに安心して安全に受けていただくために、無痛分娩の施術前（妊娠34～36週頃）に、麻酔科医師から詳しい説明を受ける機会を設けています。産科麻酔部門では、2020年4月から無痛分娩についてYouTube動画（限定公開）を掲載し、医学的な情報提供をおこなっています。メリットとしては、妊娠後期の麻酔科受診を待たなくても正しい情報を得ることができるだけでなく、ご自宅でご家族と一緒に学習でき、自分の好きな時間に何度も視聴できることです。無痛分娩教室が中止となった際にも、たくさん視聴していただきました。なお、動画は、ホームページまたはQRコードからアクセスして視聴できます。

無痛分娩 処置時のようす

- ・体幹が左右にぶれないように
- ・力を抜いて



上図：
挿入する硬膜外カテーテル
シャープペンシルの芯ほどの細さで、柔らかい材質です



ほほえみ学級について

新型コロナウイルス感染拡大により、当センターでも昨年4月以降、ほほえみ学級（出産準備教室）の中止を余儀なくされました。出産を控えている妊婦さんや、ご家族のために10月から、オンラインで学級を開催しています。参加した妊婦さんからは、「自宅でゆったりと参加できる」、「マスクを外してお互いの表情を見られる」、「里帰り出産予定などで遠方にも参加できて便利」といった、感想をいただきました。学級に参加することは、妊婦さんにとってマタニティライフの思い出にもなります。妊婦さんからは通常どおり対面で参加したいという声もあり、これからも楽しい学級を提供できるよう挑戦し続けていきます！！



助産師

お産ってこんな感じ！母乳育児は？

動画も使い詳しく説明します！！



薬剤師

お薬について



新生児科
医師

赤ちゃんのことについて

WEB 訪問



「しまじろう」が来てくれました

11月17日（火）、子どもたちに大人気のキャラクター「しまじろう」が、「いっしょに笑おうキャラバン」で、小児病棟にオンライン訪問してくれました。画面を通しての触れ合いでしたが、お名前を呼んでくれたり、クイズをしたりと、子どもたちもお母さんたちも大喜びでした。

大阪府の二次救急告示医療機関に認定されました



当センターは昨年12月7日に、大阪府より二次救急告示医療機関に認定されました。今後も引き続き、地域の皆さまに貢献できる医療機関を目指し、小児救急を確実に遂行してまいります。

産科の初診予約システム ～ 紹介状のない方が対象 ～

患者さんの予約利便性向上を目的として、「ホスピタルマネージャー」という予約システムを4月から導入します。これは、患者さんにスマホから予約希望の申し込みをしていただき、母子医療センターとのやり取りを経て、予約を確定するシステムです。まずは産科で紹介状をお持ちでない初診の患者さんについて運用を開始していきます。電話、Fax予約に加えて、患者さんの利便性の向上を目指します。

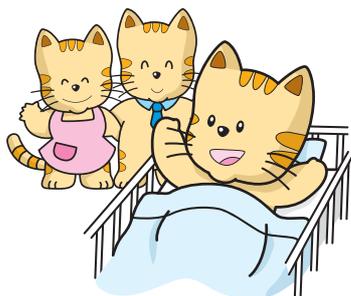
妊婦さんのページ▶



面会制限のお願い

小児棟

- 12～20時の間
- ご両親のみ お願いします



母性棟

- 夫（パートナー）のみ
- 週2回、1回30分以内
- 15～20時までの間
- 個室または談話室（予約制）のみでの面会 お願いします

（2021年3月24日現在）

新型コロナウイルス感染拡大防止に関する最新情報はホームページでご確認をお願いいたします

大阪母子医療センター 医師・栄養士監修



材料（2人分）

- にんじん・・・60g
- ちりめんじゃこ・大さじ1と2/3（10g）
- ごま油・・・小さじ1/2（2g）
- しょうゆ・・・小さじ1（6g）A
- みりん・・・小さじ1（6g）A
- 白ごま・・・小さじ1（3g）



きんぴらにんじん

新人参を使った彩り鮮やかなきんぴらはお弁当のおかずにもぴったりです。

寒い冬を越え、春の初めに収穫される新人参は、普通の人参よりも甘く、やわらかく、みずみずしいのが特徴です。サラダやスムージーなど生食で味わうのもいいですね。

人参に豊富に含まれるβ-カロテンは、体内でビタミンAに変換されて皮膚粘膜を丈夫にし、視力の維持、がんの予防、免疫力強化、アンチエイジングなど健康のために重要な働きがあります。動物性食品に含まれるレチノールと異なり、必要な分だけビタミンAに変換されるので、過剰症の心配がありません。油と一緒に摂取すると吸収率がアップするので、さっと炒めたきんぴらで美味しく召しあがりください。

（栄養管理室）

- 1 下ごしらえ にんじんはせん切りにする。ちりめんじゃこは熱湯につけて塩抜きをする。
- 2 炒める フライパンにごま油を熱し、1を入れて炒める。にんじんがしんなりしたらAを加え、汁気がなくなるまで炒めて白ごまをからめる。

大阪母子医療センターの医師と栄養士による食育レシピ
「こどもの心と体の成長・発達によい食事II 幼児期」P.80に掲載されています

地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪母子医療センター

〒594-1101
大阪府和泉市室堂町 840
電話 0725-56-1220（代）
FAX 0725-56-5682



基本理念

母と子、そして家族が笑顔になれるよう、質の高い医療と研究を推進します

基本方針

- ・周産期・小児医療の基幹施設として高度で専門的な医療を提供します
- ・患者さんとの相互信頼の立場に立った医療を行います
- ・地域と連携して母子保健を充実させます
- ・母子に関する疾病の原因解明や先進医療の開発研究を進めます